

# 令和4年度予算案の概要

## 1. 予算の基本的考え方

国は、令和4年度の経済見通しについて、民需主導の自律的な成長と「成長と分配の好循環」の実現に向けて着実に前進していくとする一方で、供給面での制約や原材料価格動向による下振れリスクに十分注意する必要があるとの認識を示しています。

区財政においては、歳入では、特別区民税や特別区交付金の増を見込むものの、区民生活や景気動向は新型コロナウイルス感染症の影響を受けることから、予断を許さない状況です。

一方、歳出では、子育て支援や高齢者・障害者へのサービス、低所得者への支援、災害対策の強化、区有施設の保全、情報システム関連経費など、増大し続ける財政需要を抱えています。

このような中であっても、コロナ禍における新たな課題や社会経済状況の変化に積極的に対応していくことで、区の将来像である「世界に輝く ひと まち たいとう」の実現を力強く推し進めていかなければなりません。

そのため、不安を抱える子育て家庭や高齢者への支援をはじめとした区民生活を支える取組みや、行政のデジタル化に向けた取組み、脱炭素社会の実現に向けた取組みなどを推進していくこととしました。また、中・長期的な視点に立ち、持続可能な財政運営を推進できるよう、後年度における区有施設の建設や大規模改修なども踏まえ、基金や起債の残高に留意し、令和4年度予算を編成しました。

## 2. 各会計予算規模

(単位：千円、%)

会計名	4年度	3年度	比較	増減率
一般会計	105,900,000	106,300,000	△ 400,000	△ 0.4
国民健康保険事業会計	23,158,000	22,924,000	234,000	1.0
後期高齢者医療会計	5,381,000	5,166,000	215,000	4.2
介護保険会計	17,636,000	17,554,000	82,000	0.5
老人保健施設会計	153,800	163,000	△ 9,200	△ 5.6
病院施設会計	282,560	304,180	△ 21,620	△ 7.1
合計	152,511,360	152,411,180	100,180	0.1